

プレスリリース 2024年1月

オーダースーツのようなタイムピース



Junghansがエレガントさと伝統、そしてスポーティな要素を組み合わせる：
いつもフィットするMeister Chronoscope。

Junghansの新しいMeister Chronoscopeは決して時代遅れになることのない時計です。一方ではシュランベルクに根ざしたJunghansの伝統を表わし、他方では最新の技術、卓越したデザインや職人技を象徴しています。時間をストップさせる機能はスポーティな性格を強調し、控えめな外観はエレガントさを強調しています。これらの特徴は、細身のラグ、細長いクロノグラフ・プッシャー、繊細なデザインでありながら握りやすいリューズを備えた、エレガントで均整のとれたケースに特に表われています。そして反射防止コーティング ドーム型サファイアクリスタルが文字通り、全体を締めくくっています。

繊細な装備

サファイアクリスタルの下でドーム型になっているのは、控えめなグレーの色調のサンレイ仕上げのダイヤルです。ダイヤル面は時間計測のために特徴づけられていて、もちろんスポーツイベントで時間を計測することが可能です。停止した分と時間を示す積算計もその証しです。これらと常備されたスモールセコンドはボウル形に凹んでいて、濃いグレーで強調されています。これがダイヤルの他の部分の温かみのあるグレーと美しいコントラストをなしています。エレガントな外観は、3時、6時、9時、12時位置に配されたアプライドインデックスと、調和のとれた針の組み合わせによって完成されています。時針と分針にはダイヤモンドカットが施され、環境にやさしいホワイト・ルミナス加工です。時刻のほか、3時位置の窓には日付と曜日がドイツ語または英語で表示されます。このMeister Chronoscopeは、ライトグレーのオストリッチレザー(ダチョウ革)のストラップが装備されており、ダイヤルのカラーと完璧に調和しています。

オーダースーツのように



ケースバックは5本の留ネジで固定され、ミネラルガラスが装着されています。覗き窓からはクロノグラフムーブメントのキャリバーJ880.1の鼓動を眺めることができます。キャリバーには自動巻き機能が備わっていて、最低48時間のパワーリザーブが保証されています。このムーブメントは信頼性が高いだけでなく、精巧で洗練された機械式ムーブメントでもあります。ロジウムコーティングのムーブメント部品、ブルースクリュー、ダイヤモンドカットのバレル、輪列、 balan

スブリッジ、ストライプ仕上げのローター、ロゴの刻印に細部へのこだわりが見て取れます。こうした細かなディテールは、この時計がオーダースーツのようなものであることも示しています。いつも完璧にフィットする。スポーティになったときでも。

Meister Chronoscope 仕様



Meister Chronoscope
27/4223.02

- ムーブメント :** 自動巻ムーブメントJ880.1、最大48時間パワーリザーブ機能 (クロノスコープ機能を使わない場合)、日付・曜日表示 (英語表示バージョン、参照番号27/4223.03もご用意しております)、スモールセコンド
- クロノスコープ :** ストップセコンド、30分および12時間積算計
- ムーブメント仕上 :** ロジウムコーティングのムーブメント、ブルースクリュー、ストライプ仕上げのローターとロゴの刻印、ダイヤモンドカットバレル、輪列、バランスブリッジ
- ケース :** ステンレススチール ポリッシュ仕上げ 直径 40.7 mm、厚さ 13.9 mm、5本の留ネジ付きミネラルクリスタルバック (シースルー)
- ガラス :** 反射防止コーティングドーム型サファイアクリスタル
- ダイヤル :** ドーム型、サンレイ仕上げのライトグレー
- 針 :** 環境にやさしいホワイト・ルミナス加工でダイヤモンドカットの時針と分針、グレーラッカー仕上げのカウンター針
- ストラップ :** グレーのオストリッチレザー (ダチョウ革)、ステンレススチール製バックル
- 防水性 :** 5気圧

詳細について、下記にお問い合わせください:

Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co.KG

International Public Relations

David Dimkovski

Geißhaldenstr. 49

D-78713 Schramberg

Tel. +49 74 22 / 18-341

E-Mail: presse@junghans.de

ユンハンスについて

シュランベルクを本拠地にしてユンハンスは1861年の創業以来、時に形を与えてきました。信頼性の高いクォーツムーブメントから精密な機械式ムーブメントまで、計時のあらゆる駆動テクノロジーを使いこなしています。電波時計技術の分野ではユンハンスはトレンドセッターであり、1990年には最初の電波腕時計を発表しました。現在では自社で電波式ムーブメントを設計・製造しており、このムーブメントはダイアルの下にある太陽電池からも電力を得ています。ユンハンスの製品は、常にテクノロジーに対するオープンな姿勢と、際立ったデザインが特徴です。このことは、Meister, max bill, FORM、1972といったシリーズの現在の現在のコレクションにも反映されています。

ユンハンスの歩んできた道は成功と波乱に満ちた歴史です。すでに1903年に、ユンハンスは3000人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーで、日に9,000本以上の時計を生産していました。精密な機械式ムーブメントの開発によって、1956年には世界第3位のクロノメーターメーカーとなりました。1972年にミュンヘンで開催された夏季大会や数々のモータースポーツイベントの公式タイムキーパーとして、ユンハンスはスポーツの世界でも活躍しています。いくつかの浮き沈みを経て、2009年にはシュランベルクの実業家ハンス=ヨツヘム・シュタイムとハネス・シュタイムがこの伝統的な企業の経営を引き受け、新たな成長の時代を迎えています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品の考案、デザイン、設計、製造を、歴史ある本社内で行っています。2018年には本社にあるテラス式建物が100周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。2022年からはハネス・シュタイムが取締役として会社を経営し、イノベーションカでもって未来へと導いています。